

市民の手で震災を記録する

コミュニティ・アーカイブを つくろう!

せんだいメディアテーク

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」奮闘記

佐藤知久・甲斐賢治・北野央 著

予価：本体 1900 円＋税 ISBN：978-4-7949-6874-6 C0036 A 5判並製・320 頁



●目次

はじめに この本について—なぜコミュニティ・アーカイブなのか

〔I〕 かんがえる編：プラットフォームがだいたい

第1章 せんだいメディアテークとremo

第2章 つくりかた①：プラットフォームをデザインしよう

〔II〕 つくる編：記録する・運営する・応援する

第3章 記録活動①：個人がつくる映像記録

第4章 記録活動②：獲得される当事者性

第5章 つくりかた②：アーカイピング・コミュニティをつくる

〔III〕 つかう編：メディアとしてのアーカイブ

第6章 わすれん！的記録の特質

第7章 アーカイブは誰のもの？

おわりに コンヴィヴィアルな道具へ

東日本大震災という歴史的なできごとを個人の立場と視点から記録し、それを公的に継承していくためのプラットフォーム「3がつ11にちをわすれないためにセンター」（通称：わすれん!）。「わすれん!」の活動は、市民が主体的に地域の歴史や文化を調べ、記録・保存し、活用していく「コミュニティ・アーカイブ」の取りくみとして注目されています。従来の（博物館、図書館 etc...）アーカイブ構築とは異なる、市民参加型のアーカイブ実践としていま大きな期待が寄せられているこの活動を伝え、日本でまだあまり語られることのない「コミュニティ・アーカイブ」への可能性を拓く実践的ドキュメント。

【せんだいメディアテーク】とは？

館長は鷺田清一氏。2001年開館。仙台市が運営する複合文化施設。図書館・ギャラリー・イベントスペース・ミニシアターなどからなり、市民が様々なメディアを通じて自由に情報のやりとりを行うことをサポートする施設。

読者はこんな人

街や災害について記録づくりをする人
地域の歴史・文化をデジタルメディアで記録したい人
図書館・博物館・教育機関などのアーカイブ従事者
コミュニティデザインやアートプロジェクトに携わる人

著者プロフィール

●佐藤知久（さとう・ともひさ）1967年生まれ。京都市立芸術大学・芸術資源研究センター専任研究員／准教授。●甲斐賢治（かい・けんじ）1963年大阪生まれ。せんだいメディアテーク企画・活動支援室室長。●北野央（きたの・ひさし）せんだいメディアテーク・スタッフ。

| | | | |
|----------------|--------|--|------|
| 晶文社 新刊委託注文書 | 取次・貴店印 | <h2>コミュニティ・アーカイブをつくろう!</h2> <p>せんだいメディアテーク 「3がつ11にちをわすれないためにセンター」奮闘記</p> <p>【社会・メディア】A5判並製・320ページ 予価：本体1900円＋税 ISBN978-4-7949-6874-6 C0036 2018年1月9日配本予定</p> | 申込部数 |
| | ご担当 様 | | 冊 |